



# ネイチャーセンターだより

2019年6月号

## 新・いきもの図鑑



## センダイハギ (マメ科)

海岸の砂丘で見られ、背丈が50～70cmの植物です。黄色の花は、チョウがふわっと飛んだような形をしています。東北地方の仙台市よりも北の地方に多く、仙台に關係のある歌舞伎「伽羅先代萩」にちなんでつけられたという説がありますが、定かではないようです。春国岱ではキタキツネコースとアカエゾマツコースの分岐周辺や、海岸沿いの砂丘を歩いて、駐車場から約3km付近に大きな群落があり、開花時期は見ごたえがあります。今月30日に開催する「春国岱ハイキング」では、奥のセンダイハギの群落付近まで歩きます。

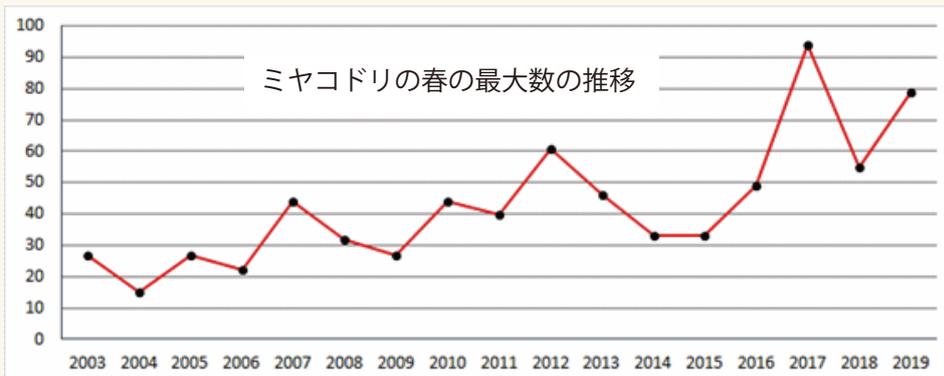
### 【参考文献】

奥田重俊編.1997.日本野生植物館.小学館  
谷口弘一ほか編.2013.北海道の野の花.北海道新聞社

## この春のミヤコドリ

すっかり春の春国岱湾の名物となったミヤコドリ。今年は4月14日に39羽を観察したのが初認でした（過去5年の平均日より4日遅れ）。その後、見られる数は20羽台から70羽台まで日により増減しましたが、4月30日に最大の79羽を記録。最後に春国岱湾で確認したのが5月5日でした。毎春の最大数を比べると、今年は一昨年（94羽）には及びませんが、それでも全体としては右肩上がりに増えてゆく傾向にあります。

## トピックス



# 見どころMAP



タンチョウのヒナが無事に育てば、親子で採食している姿が見られるかもしれません。

- 観察路 (ヒバリコース1.2km、約25分)
- 観察路 (ハマナスコース1.4km、約30分)
- 観察路 (キタキツネコース0.8km、約20分)
- 観察路 (アカエゾマツコース0.5km、約15分)
- 観察路 (小鳥の小道1.4km、約30分)
- 作業路 (春国岱上は車両進入禁止)
- 根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター (入館無料)
- ★ 東梅野鳥観察舎 (東梅ハイド)

繁殖・子育て  
真っ只中!

## 6月の見どころ予報

凡例

- ◎ ぜったい見られる (と思う)
- ちょっと気をつければ見られる
- + よく気をつければ見られる
- ・ めったに見られない

オジロワシ	○	風蓮湖付近で、繁殖するものがある(少数)。幼鳥は体全体が褐色、くちばしは基部が黄色いが、先は黒い。成鳥は頭部が白く、くちばしはレモン色。干潮時に、干潟で漁師さんが貝採りをするかたわらに下りているときがある。
タンチョウ	○	春国岱周辺では、今年もヒナが誕生した。親鳥は警戒心の強い時期なので、十分な距離を保って観察してほしい。個体を識別するためのリングを脚に装着されているタンチョウもいる。
アマツバメ	+	子育てのため巣にいる時以外は、地上に下りることがなく、食べものを探すのも、交尾をするのも、巣材集めや水浴びもすべて飛びながら行う。群で見られることが多い。
オオジシギ	+	早朝や夜に、ネイチャーセンター駐車場付近の草原で、オスがメスに求愛するため「ズビヤークゴゴゴ」と尾羽で音を出しながら急降下する求愛ディスプレイをさかんに行う。
アオサギ	○	これから少しずつ数が増え、7.8月には、最大で200羽前後が春国岱に集まり、干潮時に水辺で、カレイやギンポなどの魚を捕らえる姿が見られる。
夏鳥(おもに草原)	○	ヒバリ・コヨシキリ・ハクセキレイ・ノビタキ・ベニマシコ・オオジュリンなどのさえずりがさかん。
夏鳥(おもに森林)	○	ヒガラ・ウグイス・エゾムシクイ・センダイムシクイ・ルリビタキ・アオジなどのさえずりがさかん。親鳥が巣にいるヒナに、食べものを運ぶ姿を見ることもある。ツツドリ・カッコウ・エゾセンニュウなどが飛来すると、ほとんどの夏鳥が渡ってきたことになる。
開花		東梅自然学習林内:エンコウソウ・エゾノクサイチゴ・フデリンドウ 春国岱:(林内)コミヤマカタバミ・オオタチツボスミレ (草原)ハマエンドウ・エゾツルキンバイ・ウミミドリ・ハマハタザオ
通年		カラ類(ハシブトガラ・シジュウカラ・ヒガラ)・エナガ・ゴジュウカラ・キバシリ キツツキ類(アカゲラ・コゲラ・オオアカゲラ)

## 夏鳥が戻ってきました

今年も本州以南の国内やさらに南の国々から、夏鳥たちが春国岱に到着しています。5月26日現在で確認しているのは、次の種類です（初めて確認した日＝初認日の早い順）。早い▲・おそい▼

種名	2019年初認日	例年比	2014-18年の平均初認日
ヒバリ	3 / 28	1日▼	(3 / 27)
ハクセキレイ	3 / 30	2日▼	(3 / 28)
ベニマシコ	4 / 14	5日▲	(4 / 19)
ノビタキ	4 / 18	9日▲	(4 / 26)
コムクドリ	4 / 20	23日▲	(5 / 12)
アオジ	4 / 21	6日▲	(4 / 27)
オオジュリン	4 / 21	4日▲	(4 / 25)
ウグイス	4 / 28	1日▲	(4 / 29)
アカハラ	4 / 28	±0日	(4 / 28)
キジバト	4 / 30	4日▼	(4 / 26)
ルリビタキ	4 / 30	32日▲	(6 / 1)
エゾムシクイ	5 / 1	6日▲	(5 / 7)
センダイムシクイ	5 / 9	±0日	(5 / 9)
アオバト	5 / 19	23日▲	(6 / 11)
コヨシキリ	5 / 19	7日▲	(5 / 26)
ショウドウツバメ	5 / 25	6日▲	(6 / 1)
キビタキ	5 / 26	7日▼	(5 / 19)
コサメビタキ	5 / 28	1日▲	(5 / 29)

ここまででは、例年と同じか少し早い種類が多くなっています。ルリビタキの初認が早くなっているのは、閉鎖されていたアカエゾマツコースが昨年3月、3年半ぶりに開通し、ルリビタキがいる第三砂丘の森林に行きやすくなったためと思われます。

この他アリスイがやはり3年ぶりにアカエゾマツコースで記録されました（4 / 30）。「クィクィクィ…」とよく鳴いていましたが、初認日以降、観察できていません。ヤマシギは例年の記録があまりなかったのですが、5 / 8に自然学習林の上空を飛んでいる声を聞きました。昨年は日没の少し後の時間帯によく見られていますが、閉館後の時間なので今まで気づかなかっただけかもしれません。これから記録されそうなのは、



ルリビタキ

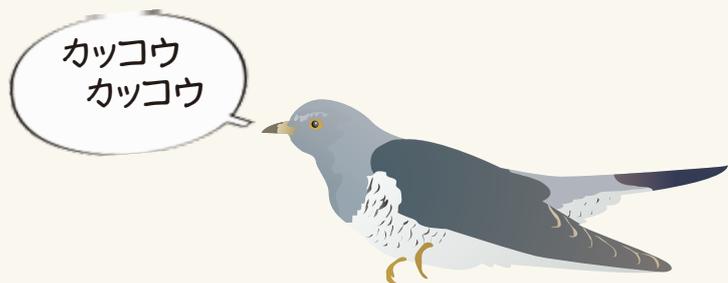
アマツバメ、ツツドリなどです。風蓮湖周辺のほかの地域では、すでに記録されています。ほかカッコウ（6 / 1）エゾセンニュウ（6 / 6）シマセンニュウ（6 / 10）マキノセンニュウ（6 / 11）。（ ）内は2014-2018年の平均初認日です。

## 春国岱クイズ

カッコウの声が草原にひびきわたる季節になりました。最近の研究では、モンゴルやカムチャツカ半島で繁殖したカッコウが、思いがけず遠いところで冬をすごしていることがわかって来ています。

ではその「遠いところ」とは、次のうちどこでしょうか？

- ① 南極
- ② アフリカ
- ③ 札幌





# 春国岱ネイチャーセンターのイベント情報！



事前にお申込みが必要な場合は、お電話またはメール、直接ご来館ください。  
お申込みの際は、参加者全員のお名前、連絡先、小中高生は学年をお知らせください。

## 春国岱・浜辺のハイキング

6月30日(日) 9:30-14:30  
※雨天延期 7/6(土)

春国岱の浜辺を歩いて、海岸の草花や野鳥を観察します。  
往復で約6km歩きます。

集 合・解 散：春国岱駐車場

対 象：自分の足で約6kmの砂丘を歩ける小学生～おとな  
(小学生は保護者がご同伴ください)

定 員：20名(先着順) / 参加費：100円(保険代として)

持ち物：動きやすい服装・長ぐつ・帽子・飲み物・お弁当・筆記用具・  
雨具・虫よけ対策(スプレー・手袋など)

## 今後の行事予定

7/21(日) フィールド講座(仮題アオサギの生態)

8/4(日) 海辺の生きもの観察会



募集中!

## ボランティア「スंक」

春国岱ネイチャーセンターでは、ボランティアスタッフを募集中です。春国岱や風蓮湖、ネイチャーセンター周辺の森の自然を自らが楽しみ、環境保全について学び守ることを目的としています。月末に1回ミーティングを行い、自然学習林の樹名板を作ったり、イベントを企画しています。熱いながらもゆるい楽しい集まりです。ご興味のあるかたはご連絡ください。

◆対象：18歳以上

◆年会費(保険料)：1,000円

## フィールドマナーを守って

自然や生きものが安心して暮らせるように…

- 観察路から外れないようにしてください
- 動植物の採取や捕獲はしないでください
- ゴミはお持ち帰りください
- 所定の場所での喫煙にご協力ください
- 春国岱入り口駐車場から奥は、一般車両の乗り入れは禁止されています
- キタキツネやエゾシカ、野鳥など野生動物の生息地です。ペットを持ち込んだり、放したりすることはご遠慮ください

クイズのこたえ 答 ② アフリカ 中国で発信機をつけられた1羽のカッコウが、モンゴルまで渡って行った後、アフリカ南東部のモザンビークで冬を越し、再びモンゴルに戻ったことが報告されています。またロシアのカムチャツカ半島で発信機をつけられた3羽のカッコウも、アフリカ南西部のナミビアまで渡って行ったことがわかりました。その移動距離は、なんと1万3000～1万5000kmにも及び、陸の鳥としては最も長距離の渡りではないかと考えられています。  
なお札幌市はカッコウを「市の鳥」に指定していますが、根室と同じく、秋にはいなくなります。日本のカッコウはどこまで渡っているのでしょうか。  
参考文献 2018年5月26日東方新報記事「カッコウは勇敢な旅人」/ Troup 他. 2018. 27th IOC Symposia Abstracts:43.

根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター(入館無料)

〒086-0074 北海道根室市東梅103番地(開館9時-17時)

TEL. 0153-25-3047 FAX. 0153-25-8570

Eメール. nemu\_nc@marimo.or.jp 最新情報はFBをご覧ください

URL. [http://www.marimo.or.jp/~nemu\\_nc/workn/index.html](http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html)

◆休館日：6月5・12・19・26日

7月3・10・16・17・24・31日

◆団体でご利用の方へ(要事前申込)

自然観察や学習、スライドの上映などのプログラムをご利用いただけます。



ラムサール条約湿地

風蓮湖・春国岱

2005年11月登録